

迎春

“ぬくもりと豊かさを実感できる
明るい未来づくり”の実現に向けて



「ユクサおおすみ海の学校」で行われた気球搭乗体験イベント

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい2019年の新春を穏やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

また、平素より市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、皆様の期待と信頼にお応えするため、今一度、鹿屋市の特性や強みを見つめ直し、「鹿屋市が大隅地域の将来の鍵を握る」という信念のもと、「ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり」の実現に向けて邁進する覚悟を新たにしているところでです。

昨年を振り返りますと、民間事業者をはじめ、大学、地域など多様な方々と連携し、まちづくりに取り組んだ年となりました。

官民連携の取り組みについては、ママカフェやアフタースクール(学童保育)を併設する子育てに優しい住宅「ハグ・テラス」の竣工をはじめ、旧菅原小学校をリノベーションし若者の新しいアイデアの詰まった体験型宿泊施設「ユクサおおすみ海の学校」がオープンしたほか、霧島ヶ丘公園に地元食材等を用いた料理やスイーツが楽しめるコンテナショップ「かのやえんがわ」と子どもから大人まで楽しめる「マウンテンバイクパーク」がオープンしました。

また、民間事業者と大隅4市5町が出資する「株式会社おおすみ観光未来会議」が設立されたことにより、これらの魅力的なスポットが今後、広域連携の中で大隅地域の多様な地域資源とともに交流人口の増加と地域経済の活性化に寄与することが期待される

とところです。

鹿屋体育大学と連携した取り組みについては、地域密着スポーツブランド「Blue Winds」を創設するとともに、市民参加型運動会「かのやエンジョイスポーツ」等を開催し、スポーツを通じた地域と大学が交流できる仕組みづくりとスポーツ振興による地域の活性化に取り組んだほか、2020年の東京オリンピック出場を目指すタイ王国女子バレーボールチームが、ホストタウンである本市において事前キャンプを行い、同大学のスポーツパフォーマンス研究センター等を活用したトレーニングや市民との交流を行いました。

いよいよ来年は「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催されます。本市は、ボート、バレーボール、自転車、スポーツ吹き矢の計4種類の会場となっております。

市民の皆様と一緒にあって、選手の応援はもとより、全国から訪れる方々を温かくお迎えし、「スポーツのまちかのや」として夢と希望に満ちた心に残る大会にしたいと考えております。

このほか、地域で共に助け合い、支え合う「共助」が重要となる中、地域や民間事業者の皆様が主体となり自ら交通手段を有しない高齢者等に対して買い物等の交通手段を無料で提供する「ドライブサロン事業」の取り組みが各地域に広がっています。

また、新たな取り組みとして地域の身近な生活課題を解決するための有償ボランティアグループの発足や無料宅配サービスの取

り組みも始まっています。

このような中、本市では、「平成」から新しい元号に改められる本年を初年度とし、今後6年間にわたる市政運営の羅針盤となる「第2次総合計画」を新たに策定しスタートします。

本計画に基づき、少子高齢化・人口減少への対応や次世代を担う人材の育成、子育て支援、地域産業の活性化や環境、防災等の諸課題に対し、将来を見据えた様々な挑戦を重ねてまいります。

輝かしい未来を次世代につなぐため、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾けるとともに、市議会での議論や各種団体のご意見を踏まえて市勢のさらなる発展に全力を傾注してまいりますので、皆様のご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

結びに、2019年が市民の皆様にとりまして、明るく希望と幸せに満ちた良い一年になりますよう心からご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。



鹿屋市長

中西 茂